

広島大学の知に触れる情報誌

August 08
2023

HU-plus

Hiroshima University Magazine vol.22

法律を通じて
社会をより深く知る機会を
広島から



LEGAL

MIND

[CROSS TALK+]

俳句で磨く、他者に伝える力。言葉の風を吹かせ、実りある人生を。

俳人・エッセイスト 夏井 いつき氏 + 広島大学 学長 越智 光夫

[特集] 世界に挑む広大 #5

リーガルマインドが社会を変える



散



詩



Message from President

語



録

平和の架け橋になれる人材を、世界へ

5月に開かれたG7広島サミットは、インドなどグローバルサウスと呼ばれる国々の参加に加え、ウクライナのゼレンスキー大統領が電撃的に来広したこともあり、全世界の注目を集めました。岸田首相の力強いリーダーシップにより、核軍縮に特化した初の文書「広島ビジョン」が発表され、「核兵器のない世界」という究極の目標に向けたコミットメント（関与）を7カ国が再確認するとともに、核兵器使用の実相への理解を高めるため、世界中の指導者や若者へ向け、広島、長崎への訪問を呼びかけました。

世界平和の理想と現実と直面する中、G7サミットを終えてさまざまな意見が表明されています。私自身は、各国の首脳が原爆資料館を訪れ、核兵器の怖さ・悲惨さを直接肌で感じる事ができたことこそ広島開催の大きな成果であり、核兵器の廃絶という理想に向けた確かな一歩ではないかと思っています。

広島大学医学部は、1877年に創設された公立広島病院の附属医学校（後の広島医学校）が源流です。富士川游や尼子二郎ら日本の近代医学を牽引する有為の人材を多数輩出しました。しかし、政府の財政難から1888年に廃止されて以降は、広島での医学教育は不毛の時代が続きました。

その後、1945年8月5日、原爆投下のわずか1日前に、後の広島大学医学部となる広島県立医学専門学

校が開校しました。教員や学生の大半はその日のうちに疎開したため、無事でした。被爆直後の広島市内に入り、学生と共に被爆者の救護や病理解剖に従事した教員もいたと聞いています。

これらの活動が、1961年の原爆放射能医学研究所（現・原爆放射線医学科学研究所）の設立につながりました。また、医学部も今や大きく変貌を遂げ、臨床部門のトップ25%のQ1ジャーナルにおける論文数、引用数の多い研究者数いずれも中四国1位（2021年版）になっています。本学は平和を希求する精神のもと、自由で平和な国際社会を実現し、人類の幸福に貢献することを使命として今日に至っています。

岸田首相は、広島ビジョンの中で「77年間に及ぶ核兵器不使用の重要性」にも触れました。77年間核兵器が使われなかったのは、ひとえに被爆者の方々が絶えず、核兵器の怖さ、被爆の悲惨さを語り続けてこられたことが大きな理由の一つであることを忘れてはならないと考えています。

今回のサミットを機に、被爆の実相を次世代に継承する取り組みを支援し、平和の架け橋になれる人材を養成していくことは、本学の責務であるとの思いを改めて強くしました。これからも平和の実現に向け、教育・研究・社会貢献に努めてまいります。

越智 光夫

Bringing human peace bridges to the world

The G7 Hiroshima Summit held in May this year drew world attention, as it hosted India and other countries—the so-called Global South—as well as the surprise visit by Ukrainian President Zelensky. Under the strong leadership of Prime Minister Kishida, the ‘Hiroshima Vision’, the first document to make specific reference to nuclear disarmament, was released. The Vision reaffirmed the commitment of the seven nations to the ultimate goal of a nuclear-weapon-free world and it called on leaders and youth around the world to visit Hiroshima and Nagasaki, in order to enhance their understanding of the reality of using nuclear weapons.

As we face the ideals and realities of world peace, various opinions have been expressed after the G7 Summit. I personally believe that the fact that the G7 Summit leaders were able to visit the Hiroshima Peace Memorial Museum, enabling them to experience first-hand the horror and tragedy of nuclear weapons, was in itself a great achievement of this Hiroshima Summit, and a solid step towards the ideal of nuclear abolition.

The Hiroshima University School of Medicine was founded in 1877 as a medical school attached to the Hiroshima Prefectural Hospital (later to become Hiroshima Medical School). The school has produced many of Japan’s leading figures of modern medicine, such as Yu Fujikawa and Shiro Amako. However, the school was closed down in 1888 due to the financial difficulties of the government. After that, medical education in Hiroshima entered a dark age.

Many decades later, on 5 August 1945, just one day before the atomic bombing, the Hiroshima Prefectural College of Medicine (later becoming the Hiroshima University School of

Medicine) was launched. As most of its faculty and students had evacuated on the same day, they were safe. I understand that one day after the bombing, some members of the faculty returned to Hiroshima city, in order to work with students to rescue A-bomb survivors and to perform pathological autopsies.

These activities led to the 1961 launch of the Research Institute of Radiation Biology Medicine (now the Research Institute for Radiation Biology and Medicine). Since then, the School of Medicine has also undergone a major transformation, growing into top-ranking universities in Chugoku and Shikoku, both for the number of papers published in the top 25% of clinical journals (Q1 journals) and for the number of researchers who have received the highest number of citations (as of the 2021 edition of m3.com). HU remains committed to its contribution to the wellbeing of humankind, by helping to realize a free and peaceful international society in the spirit of pursuing peace.

In his Hiroshima Vision, Prime Minister Kishida also mentioned ‘the importance of the 77-year record of non-use of nuclear weapons.’ We must not forget that one of the main reasons why nuclear weapons have not been used for this period is that Hibakusha have continually spoken out about the horror of nuclear weapons and the misery of the atomic bombings.

This summit has reinforced my belief that it is HU’s responsibility to support efforts to pass on the reality of the atomic bombing to the next generation and to nurture people who can serve as ‘bridges for peace’. I will continue to strive for the realization of peace through education, research, and social contributions.

越智 光夫

【Hiroshima University】の魅力や情報をあなたに“プラス(+)”、【HU】とあなたが“つながる(+)”という願いを込めて。



法学部が移転しにぎやかさを増した東千田キャンパスから、優れた法曹をより多く輩出していきます。

CONTENTS

- 01 散詩語録
- 03 CROSS TALK+
俳人・エッセイスト
夏井いつぎ氏 +
広島大学 学長
越智 光夫
- 07 特集 世界に挑む広大 #5
リーガルマインドが社会を変える
- 11 持続可能な未来のヒント
広大 もったいなれっじ
- 13 AERAが書く 研究者の素顔
- 15 HIRODAI GLOCAL
- 19 こちら東千田地区支援室!
- 20 HIRO-DAI HEROES
- 21 卒業生インタビュー 私も広大です
- 23 HU-style
- 25 HU TOPICS
- 27 キャンパスNOW
- 28 読者アンケート・プレゼント
- 29 広島大学への寄附・基金

広島大学SNS

- 広島大学(Hiroshima University)
- @Hiroshima_Univ
- 広島大学 | LinkedIn
- HiroshimaUniv

Instagramでキャンパスの日常を配信中



俳句で磨く、他者に伝える力。 言葉の風を吹かせ、実りある人生を。

夏井 いつき氏(左)
俳人・エッセイスト

越智 光夫(右)
広島大学 学長

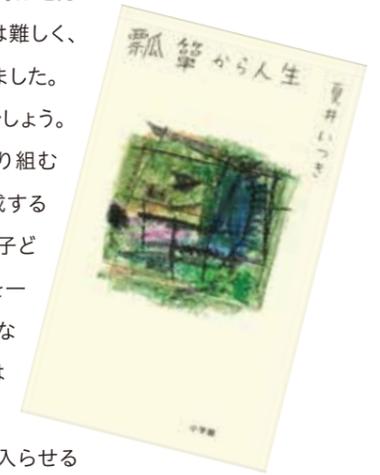
わなかったということもあります。「言葉」に関連する仕事を希望していたのですが、当時は地方で出版や編集といった仕事に就くのは難しく、そこで教師という選択肢にたどり着きました。

越智 当時はどのような先生だったのでしょうか。
夏井 教材研究が大好きで熱心に取り組む教員でした。授業の前に指導案を作成するのですが、教科書をどう料理すれば、子どもたちにおいしく食べてもらえるかを一生懸命考えていました。子どもは正直なので、教科書を単に説明するだけではそっぽを向かれてしまいます。彼らによそ見をさせず、身を乗り出して聞き入らせる授業にどう仕上げるか。そこを追求するのも教師という仕事の醍醐味だと思います。

越智 私も大学で教鞭をとっている頃は、そのように考えていました。今になって考えるのは、そのときに理解できなくても10年20年経ってから消化できるような、噛みごたえのある難しい事柄も入れておいたほうが良かったな、と。

夏井 授業の中に噛みごたえをプラスしていく一方で、中学校の国語の授業では、もっと基礎的な部分を生徒に根気よく教え、世に送り出さないと日常生活が困難になるという現実もありました。やはり基本的な国語力、言葉を使う力や伝える力を身に付けさせて送り出してあげたいという思いはありましたね。

越智 大学では知の追究、why(なぜ)を学生に考えさせることも使命ではないかと考えていま



夏井いつき先生の著書
『瓢箪から人生』(小学館)

め、放課後残る必要のない放送部に所属していました。国語だけは得意だったので、運よく京都女子大学に入ることができ、そこで再びバレーボール部に所属して、キャプテンを務めるほど熱心に取り組みました。



す。例えば宇宙の果てに何があるのかといった、単純なようでなかなか答えが出ない問題をとことん考えられるのは、大学時代ならではでしょう。受験や偏差値教育の求める効率の良さか

ら離れ、大学での学びはもっと自由でいいのではないかと思います。俳句をつくることもこれに似て、深く考える力が失われることを避ける良いトレーニングになるのではないのでしょうか。

夏井 俳句は全てのジャンルの学問と手を取り合える文芸だと考えています。私の担当している番組内で、筑波大学やJAXAなどを訪れ、最新科学や宇宙工学などの専門用語を五七五で

故郷での教員時代に俳句の道へ

越智 京都女子大学を卒業後は、地元愛媛に帰り、中学校の国語教師を務めておられたとお聞きしています。

夏井 大学の4年間を過ごした京都は憧れの地ではありましたが、やはり故郷に戻って仕事をしたいという思いがありました。単に都会が肌に合

小さな村の大人しい優等生

越智 夏井先生は愛媛県のご出身ですね。私も同郷なのでとても親近感を感じております。故郷ではどのような少女時代を過ごされたのでしょうか。

夏井 子どもの頃は、少しみんなと距離があるタイプの優等生でした。私が育ったのは内海村(現・愛南町)という愛媛県の南端の方に



あった村で、小学校と中学校は同じ建物にあり、1学年には1クラスだけ。9年間同じ級友と机を並べるような小さい小中学校の

優等生でした。

越智 大人しい文学少女という感じでしょうか。

夏井 友達と一緒に騒いだり、はしゃいだりという感じではありませんでした。かといって文学少女というわけでもなく、伝馬船を漕いで父と鯛釣りに行くなど活発なところもありました。実家は祖父の代から特定郵便局をやっていました。小さな村ということもあり周囲の目が自分の立ち居振る舞いにまで及ぶため、羽目を外さないよう用心していたところもあります。

越智 当時から俳句をつくっておられたのでしょうか。

夏井 本を読むのは好きでしたが、俳句には興味がなく、中学校ではバレーボールに打ち込んでいました。高校は家から遠方だったた

俳人・エッセイスト
夏井 いつき なついつき

愛媛県南宇和郡内海村(現・愛南町)出身。京都女子大学文学部国文学科を卒業後、1980年から8年間の中学校国語科教諭を経て、俳人へ転身。俳句集団「いつき組」組長。「俳句甲子園」の創設にも携わり活躍中。第8回俳壇賞、第72回日本放送協会放送文化賞、第4回種田山頭火賞など受賞歴多数。

広島大学 学長
越智 光夫 おちみつお

愛媛県今治市出身。広島大学医学部卒業後、整形外科に入学。1995年島根医科大学教授。2002年広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授に就任。広島大学病院長を経て2015年から現職。2015年に紫綬褒章を受章。

一本の百合のごとくに戦はぬ
夏井 いっき

表現してみよう、という試みがあります。次回予告をする際、何の説明もなしに「重力波」「エアロゾル」といった言葉がお題に上がります。子どもも大人も、初めて接する言葉を使って俳句をつくろうとすると、好奇心を持ってその言葉について深く調べる以外に道はありません。俳句は新しい言葉や事柄を知るきっかけとなり、知的好奇心あふれる豊かな人生、生涯学習への鍵となると感じています。

❖ 災禍も苦しい思いも季語に託して

越智 夏井先生は平和や反戦を多く俳句に詠まれています。ミニ句集『旗』の巻頭言には、「平和を希求する小さな旗を一本、ここに掲げる」と記されました。この言葉が表す精神は、本学の理念の一つ「平和を希求する精神」と一致します。世界の平和が脅かされる現在、俳句にできることは何だと思われますか。

夏井 人生で起こる大きな災禍に対し、俳句で具体的にできることはないかもしれませんが。ただ、その出来事によって揺れ動く心の機微や感情を表現し、多くの人と交感して慰め合うことはできるのではないのでしょうか。以前、このようなことがありました。

あるラジオ番組で「春灯」というお題が出されたとき、ちょうどウクライナ侵攻が始まった頃でした。本来この季語は、「はるともし」や「しゅんとう」と読み、春のまったりとした空気感や温かな夜の灯りをイメージさせるもので、痛ましい季語ではありません。ところが、多くの方がウクライナでの戦争や戦火のイメージと「春灯」を結び付けて俳句をつくり、番組に投稿し

てくださったのです。

このように災害や戦争といった誰もが心ざわつく出来事、もやもやとした誰にも言えない思いを季語にのせることで、私たちは自分を慰めることも、多くの人と苦しい胸の内や、吐き出さずにはいられない思いを分かち合うこともできます。そこが俳句の大きな魅力です。

越智 「風の強い日の旗は美しい」この言葉は夏井先生が教員時代、先輩から言われた言葉だそうですが、逆風にあっても一棹の旗が青空に凜と立ち、はためく姿をイメージします。俳句は人生で避けられない困難を支える「心の杖」になるのです。そんな俳句に人生を支えられ、共に歩んでこられた夏井先生が、俳句をつくる上で大切にされていることは何でしょうか。

夏井 季語と自分のその時々を生身の感情、等身大の思いがぶつかり合って生じる「詩の火花」を意識しています。人生で出合う楽しいことも、つらいことも四季の移ろいや光景にのせて代弁してもらおう。そうすることで自分を客観視して人生の困難を乗り越えられるばかりか、他者となつたり、自分の世界を広げるきっかけにもなります。そして何より俳句を稼業にしている以上、自分の作品のでき映えや評価にこだわるよりも、俳句をつくる意義や良さを広く世に伝え、「俳句の種」を蒔いて世の中の役に立ちたいという思いがあります。俳句という文芸を後世に残すことで、より多くの方の人生に豊かな言葉の風を吹かせ、たくさんの実りを残すことができればうれしいですね。

越智 最後に、未来を担う日本の若者へのメッセージをお願いします。

夏井 皆さんもぜひ俳句づくりを通して自分の感情や思いを表現する「言葉の筋力」を鍛えてください。自己にとどまることなく、他者にしっかりと伝わる表現力を身に付けることで、言葉のすれ違いによって起こりうる社会のさまざまな衝突や対立を乗り越えられ、より生きやすい社会になっていくはずですよ。

越智 季語という日本ならではの言葉の力を借りて誰かと分かり合いたい、理解し合いたいと願う心が平和な世界へとつながるのです。本日はありがとうございました。



もっと
Plus
な 広大

学長対談のテーマにちなんで、
広島大学をもっとよく知るためのTOPICSを紹介。
あなたにも社会にもプラスになる
大学の取り組みや魅力をお届けします。

PLUS [Japanese Literature]

さまざまな時代の日本文学・
日本語学を専門的に研究

広島大学日本文学語学研究室は、6人の教員と約30人の大学院生、約60人の学部生で構成された、文学部の中では最も学生の多い研究室です。平安朝・中世・近世・近現代の文学と日本語学の教育・研究を担う教員がそろっており、学生の学習上の多様な要請に応じ指導に当たっています。



2022年11月24日の
卒業論文中間発表会を前にして

Voice 伝統ある研究室で
最先端の教育を提供



当研究室は、1929年創立の広島文理科大学国語国文学研究室を継承する形で、日本文学と日本語学の研究拠点として機能し続けています。日本文学と日本語を勉強したい人に、常に最高・最先端の教育を提供できる研究室でありたいと考えています。

大学院人間社会科学部研究科
久保田 啓一教授

PLUS [Volleyball]

応援を力に変え、
チーム一丸となって勝利を目指す

広島大学バレーボール部では、男女総勢42人が、週に5日、東広島キャンパス北体育館で練習に取り組んでいます。練習の様子は動画に撮影しYouTubeなどのWeb上で共有。チームメイト同士で課題を確認し、次の練習につなげています。2023年5月の中四国大会では、男子が



2023年春季リーグ、4年ぶりの通常開催となり、会場は熱気に包まれました

14年ぶりのベスト4に。上位を私立大学が占める中、国立大学としては大健闘でした。次の目標は、男子は1部リーグ戦7勝と全日本インカレでの勝利、女子は1部リーグ昇格です。今後も、同窓生をはじめ、たくさんの方々からの応援を肌で感じながら、先輩から受け継いだ、自主的に練習し全力で試合を楽しむという伝統を守り、男女とも高いモチベーションで日々の練習に励みます。

PLUS [Curriculum Design]

自主的に学び国語科教員としての
資質を身に付ける

多くの学生が国語科教員を目指す広島大学教育学部国語文化系コースでは、読書会や学内研究発表会、外部講師による講演会など学生が自主的に参加できる勉強・研究の機会をたくさん用意しています。国語教育を中心とした在學生と卒業生との良いつながりが保たれていることも特色です。



2023年6月1日
卒業論文構想発表会の1コマ

Voice 言葉に向き合える
国語教育の担い手を
育てたい



言葉は時代や社会と共に変化しながら歴史の中で育まれてきました。そのことを理解しながら言葉とその教育について考えられる人を育てていきたいです。そしてそれが、しなやかで深い言葉を紡ぎ出す国語教育をつくると考えます。

大学院人間社会科学部研究科
山元 隆春教授

特集 | 世界に挑む広大 #5

リーガルマインドが 社会を変える

社会を基礎から支える“法律”。

難しい文章で近づきたいと考えがちですが、

実は私たちの生活の根底を定めているものです。

法律を学ぶことで社会の仕組みを深く理解し、

自身と社会の関わりを再認識することができるでしょう。

先行きが不透明で予測困難な現代において、

社会をより豊かに発展させていくため、

柔軟な法的思考力である「リーガルマインド」が求められています。

今回は、リーガルマインドを養う広島大学の

法学・政治学の学びや研究、社会への影響について特集します。

\\ 広島市内へ回帰! //

進化する広島大学の法学部

キャンパス移転により連携強化 法曹の養成を推進する

2023年4月から、法学部と大学院人間社会科学部 人文社会科学専攻 法学・政治学プログラムが、東広島キャンパスから東千田キャンパスへ移転しました。永山博之法学部長は「東千田キャンパスがとてにぎやかになりました。広島の中から、優れた法曹をより多く輩出できるようさらに教育に注力していきます」と、東千田キャンパスのこれからに期待を寄せます。



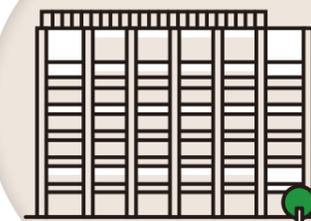
法曹養成の 拠点化

法学部、法科大学院
一体の教育で法曹を輩出

広島大学法学部には「法曹養成プログラム」があり、同プログラムでは最短5年(学部3年+法科大学院2年)で司法試験合格を目指せます。もともと東千田キャンパスに設置されていた法科大学院(大学院人間社会科学部 実務法学専攻実務法学プログラム)と法学部が同じ場所になったことで、両者の連携がさらに強化。東千田キャンパスを法曹養成の核として発展させていきます。



東千田
キャンパス



地域社会の 一員としての広大

実務と連携した学部教育や
地域と大学の研究教育での協力を実現

28年ぶりに広島市内に回帰したことで、広島市とのつながりも強まります。法曹を目指すには、法律だけでなく実務に対する理解も必要。市内の弁護士事務所や官庁などと連携した、実践的な教育を早くから受けられます。また、東千田キャンパスが地域の人々の教育・交流の新しい拠点となることも期待されています。



〈具体的な取り組み〉

- 法曹養成プログラムの修学環境強化
- 法科大学院教員による、法曹養成プログラムでの出前講義
- 地元弁護士の協力によるマイクロゼミ
- 若手裁判官、検察官による学生教育
- 実務家リレー講義「実社会と法学」の開講
- 学部生と実務家による「職業としての法曹」についての対話
- 広島市内の官庁、企業による学部での出前授業
- リカレント教育(社会人向け教育)の講座の充実
- 社会人正規学生、科目等履修生、履修証明制度の推進
- 法学部特別公開講座の実施
- 学生や留学生、企業や行政との交流促進
- リーガル・サービス・センターでの無料法律相談

こんな相談も!
Q. 土地の売買において、自身の私有地として主張できる範囲は?

今だからこそ考えたい!!

法学・政治学が平和を導く鍵となる

平和な世界を実現するために、私たちは何を考え、行動するべきなのでしょうか。
法学や政治学の研究を通して、平和について考えてみませんか。

必然的な意見の対立を、俯瞰的視点から明らかにする

Keyword
国際政治
安全保障

価値観に基づいた集団の行動を考察

人間は意見の合う人々とコミュニティを作り、価値観の違う人としばしば対立します。例えば、核兵器反対派の市民活動が世論を動かし核兵器禁止条約が成立したとしても、核兵器保有国はその条約には加盟しないでしょう。両者が歩み寄ることはなく、議論は平行線をたどると考えられます。

人間の行動が法律や利害関係にどれほど影響されているかや、社会の合意形成パターンなどを俯瞰的に捉え、分かりやすく提示するのが政治学役割だと考えています。

広島から、できることを少しずつ

価値観のすり合わせが限界を迎えると、ロシアとウクライナのような戦争に発展してしまいます。過去の歴史にさかのぼり、戦争の原因となるお互いの価値観の違いを明らかにすることも政治学の大切な役割です。

先日開かれたG7広島サミットでは、各国の安全を損なわない形での、核兵器のない世界の実現に向けて改めて広島から発信し、非常に大きな成果を残しました。社会を変えるといっても、わずかな努力の積み重ね以外にはないのです。



永山 博之 教授 (法学部長)
大学院人間社会科学研究所
専門分野は政治学、国際関係論。

Profile

学生とのゼミ風景



話し合いで問題解決を目指す「修復的司法」

Keyword
刑法
修復的司法

当事者間の関係修復、加害者の更生を期待

「修復的司法」とはニュージーランドのマオリ族を起源とする制度で、被害者や加害者だけでなく関係者全員が集まり、話し合いを通じて問題解決を図る考え方。当事者間の関係修復、加害者の更生が期待でき、裁判によって問題解決を図る既存の刑事司法を補完する制度として役立ちます。DVやネグレクト、いじめなどさまざまな社会問題の解決にも有用です。日本の司法制度にも導入が進めば、社会に多くの利益がもたらされるでしょう。



イタリアのパドヴァ大学で開催された法学会議に、教授らと共に出席

平和を促進する手段として注目

カナダやアメリカ、オーストラリアなどで導入が進んでおり、修復的司法への関心が世界的に高まっています。また、地域社会の犯罪だけでなく、国内外の紛争を解決し、平和を促進する手段としても注目を集めています。実際に南米や南アフリカなどの内戦の解決に修復的司法を活用し、復讐を生まないよう和解した例が存在します。将来的には、国連による修復的司法を用いた調停機関の設立などシステムが確立され、世界平和に重要な役割を果たすことを期待しています。



ムスラキス ジョージ
Mousourakis George 教授
大学院人間社会科学研究所
専門分野は、刑事法学や基礎法学、国際法学など。

Profile

“自由”が社会を豊かに、平和に変える

Keyword
憲法
自由

国の役割は衝突時の審判者、秩序維持

憲法とは、国家権力の濫用を阻止し、人々の権利や自由を守るものです。憲法によって国家の権限をできるだけ小さくし、私たちの自由な活動を促進するほど社会が豊かになると私は考えています。日本はタクシー料金や同性婚をはじめ規制が多いため、自由な活動が阻害され経済や社会が発展しにくいと感じます。

国民の自由な活動同士が衝突した際に審判者を担うこと、また活動の結果できあがった秩序を維持することが国家の役割なのです。

失って初めて気付く重要性

経済の自由度を高めることで、さまざまなしながらみから逃れて世界中の人々と協働し、社会を豊かにすることができます。武力ではなく自由によって豊かさを得たという経験は、自由を侵害する最たる例である戦争の抑止につながるのではないのでしょうか。

一人一人が違いを尊重し、自由であるからこそ社会がうまく機能します。普段私たちは無意識に自由を享受しており、失った時初めてその価値に気付くものです。私の研究から、自由の重要性を理解してもらえればうれしいですね。



Profile

井上 嘉仁 准教授
大学院人間社会科学研究所
専門分野は、憲法や表現の自由、経済的自由について。



世界各国の民法の比較を通じ世界平和へ貢献

Keyword
民法
団体法

団体と第三者の保護のために

民法のうち、数人が共同で財産を所有する場合の法律関係について研究しています。特に、法人でない社団、組合および共同相続人等の内部関係は、ほとんど外部に公示されないため、団体やその構成員と取引した第三者が不測の損害を被る場合があります。団体の規律を尊重しながら、取引の相手方も保護できる法制度を作るため、立法史的に関連の深いドイツや韓国の民法との比較研究を通じて解釈論的・立法的提言を行っています。



キム ミンジュ 准教授
大学院人間社会科学研究所
専門分野は民法、団体法、比較法。

Profile

グローバルな視点でより良い法制度を目指す

法律とは、ローマ法時代からヨーロッパ、アジアへと原理原則を抽象的に受け継ぎ、各国の実情に合わせて見直されてきた歴史的な産物だと考えます。日本の民法がフランスの民法やドイツの民法から影響を受けるように、日本の民法は東アジアの国々に影響を与えるのです。世界各国が互いに発展的な影響と示唆を与えられる比較法学や国際学術交流を通して、より良い法制度の発展を図りながら平和に少しでも貢献していきたいと思います。



2020年ドイツルール大学 (Ruhr-Universität Bochum) 法学部で開催された「日独比較法セミナー」の実施後

Hint 9

現代医学の原点、解剖学が担う2つの使命

池上 浩司 教授

PROFILE | いけがみ こうじ
大学院医系科学研究科 医学分野(基礎系)研究室に所属。解剖学研究を専門とし、日本解剖学会では若手育成委員会の委員長を務め、解剖学教育の普及・改善に寄与する。



人 体の仕組みを解明し、臨床研究の発展に役立てる

解剖には、事件・事故に関わりのある遺体の死因を探る法医学解剖や、死後に病変を調べるための病理解剖など、目的に応じていくつかの種類が存在します。その中でも私が専門とする解剖学は「正常解剖」に分類されます。正常解剖の目的は「正常な体の形を理解する」というシンプルなものですが、解剖学研究の意義は、病気の予防や治療方法の改善などを旨とする臨床研究の基盤を作ることにあります。

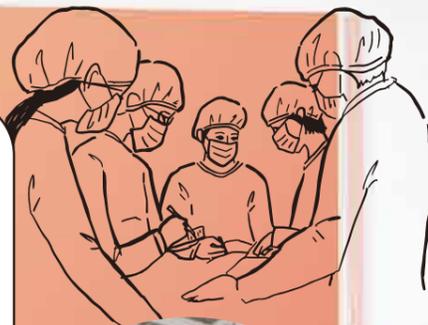
私たちの健康を支える医療技術の中には、長年蓄積されてきた解剖学研究の知見を糧に生み出されたものも多くあります。その歴史は長く、数百年間にも及ぶ研究成果から血管や神経、臓器や組織に関して数多くのことが明らかになっています。しかし、組織を形作る細胞レベルの研究に関してはまだまだ未知のことばかり。解剖学が今後の臨床研究を進展させる可能性は、大いに残されているのです。

医 学生が「医療人」になるための実習

解剖学研究者にはもう一つ、「教育」という大切な使命があります。医学教育においても、解剖学は多くの臨床医学の土台となる重要科目です。特に学生自身がご遺体にメスを入れる「解剖学実習」では、専門家として緻密に指導します。実習は複数の班に分けて進めますが、ご遺体の個人差や班の進捗状況によって必要な指導内容はさまざまです。臨機応変に学生たちの疑問を解消し、学びを深めるためには、解剖学に対する深い知識が求められます。この実習は原則、模型やデジタル教材などで簡略化せず、ご遺体を用いて行います。自らの目と手で能動的に体内の構造を見つけていく体験が、学生の人体に対する理解度を大幅に高めるのです。これは私の

教員としての体感だけではなく、VR教材を用いた実習との比較研究からも明らかになった事実です。また、ご遺体を用いることには、医療人としての倫理観を醸成するという大きな意義もあります。多くの学生にとって初めて「人の死」に触れる解剖学実習は、医学に貢献したいという献体者や遺族の思いを感じ、医療人としてのマインドを形成する大切な機会となっています。

全ての人に健康と福祉を行き渡らせるためには、医学の発展はもちろん、医療人材の育成も必要不可欠。今後も解剖学研究を通して双方に貢献していきます。



解剖学実習ができるのは献体者のおかげ。解剖学実習室では、実習のはじめと終わりに必ず献体された方々へ黙祷をささげ、感謝と慰霊の念を表す

広大

もったいなれっじ

持続可能な未来のヒント

広島大学の研究室では、SDGsの達成に貢献するさまざまな知が日夜生まれています。読めば必ずためになる、こんなに魅力的な研究を知らないなんて、もったいない!



今回は、「いのち」に関するアカデミアの今を特集。救い、守り、さらには変化させ、創り出す... 私たちの命の営みを支える研究は、どのように生まれているのでしょうか。



Hint 10 生命倫理学の視点から科学技術のあり方を考える

澤井 努 准教授

最先端科学技術に伴う期待と懸念を分かりやすく整理し、倫理学の観点から科学技術の未来を描いた、自身の代表著作

人 の生命はいつから始まるのか

近年、急速に進展する生命科学において、人類は生命の領域にどこまで踏み込んでいいのか。私は、最先端科学技術が提起する多様な倫理的課題を明らかにし、望ましい研究開発のあり方について模索しています。

生命倫理学の成立背景は複数ありますが、1978年、世界で初めての体外受精児がイギリスで誕生したことは、科学や医学が生命倫理に向き合う一つのきっかけになりました。体外で精子・卵子を受精させた胚(受精卵)を生殖以外

的に利用してよいのかに関して、イギリス国内で賛否が割れたのです。この事態を受け、哲学、倫理学、医学、法律などの専門家が胚の扱いに関して議論を行いました。そして、受精後14日までの胚は双子になる可能性があるため、アイデンティティの確立した特定の個人に危害を加えることにはならないこと、また苦痛を感じる感覚器官を持たないことを根拠に、受精後14日までの胚の研究利用を認めるルールを提案。「14日ルール」と呼ばれるこの規則は、その後、日本を含め世界の多くの国が採用するなど、今日の胚研究における倫理基盤となりました。

「対応」から「創造」へ。生命倫理学の役割の進化

「14日ルール」を含め、生命倫理学ではこれまで、新たに誕生した科学技術にその都度対応する形で議論が行われてきました。しかし、研究開発に倫理や規制の議論が追いつかなかつたり、各国の規制が異なるために規制の厳しい国から規制の緩い国に研究者が移動してしまつたりと、研究のあり方に対して数々の問題が指摘されています。そこで今注目されているのがRRI (Responsible Research and Innovation) という研究開発の理念。目指すべき社会像をふまえ、研究が始まる段階から「研究開発をどのように進めるべきか」を議論する試みです。そこでは、社会のあり方や価値観を考慮することが重要

視されます。そのため、これからの生命倫理学には、アカデミアと社会をつなぎ、対話し、未来を創造する役割が求められます。

また、時に生命の根源に深く切り込む生命科学においては、不適切な情報発信が世間の不安を煽り、研究活動を阻害してしまうこともあります。生命倫理学は、科学技術の未来を展望する際、社会の意見を取り入れるだけでなく、社会に対する説明責任を果たすことで、研究開発の持続的な発展にも寄与するのです。私自身、科学コミュニケーションなどを通じて、社会全体で科学技術のあり方を考える仕組みを作っていきます。



PROFILE | さわい つとむ
大学院人間社会科学部 人間総合科学プログラムに所属。倫理学を専門とし、近年は最先端の科学技術が提起する生命倫理問題に関して文理の垣根を越えた学際的な研究を行っている。

AERAが書く 研究者の素顔

研究者は普段どのような一日を送り、研究に取り組んでいるのか。学問との出会いや、探究の原動力は何だったのか。人物、スポーツ、文化、政治、経済、事件…幅広いジャンルを取材するAERA記者が研究者の素顔に迫ります。

[AERA]
「時代」をキーワードに独自の切り口で描くニュース週刊誌。国内外の重大ニュースから身の回りの小さな出来事まで「時代」を敏感にキャッチし、独自の視点で掘り下げた記事をお届けしています。



世界の医療チームが認めた 国際標準の診療日報を開発。

大学院医系科学研究科
久保達彦教授



くぼ・たつひこ / 1975年、東京都生まれ。2000年、産業医科大学医学部医学科卒業。06年、産業医科大学大学院医学研究科博士課程修了。産業医科大学医学部准教授などを経て、19年10月、広島大学大学院医系科学研究科教授に就任。国際緊急援助隊(JDR)、災害派遣医療チーム(DMAT)などの活動経験を踏まえ、日本における災害医療チームの標準診療日報様式「J-SPEED」や、「J-SPEED」を基にした世界の災害医療情報の国際標準日報様式「MDS」を開発。2023年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術部門 科学技術賞を受賞。

被災地医療の課題は チーム間の情報共有

2022年2月に始まった、ロシアのウクライナ侵攻。ウクライナの隣国モルドバには、約40万人もの避難民が入国し、瞬間に医療体制はひっ迫した。同年3月から集結した各国の国際医療チームが情報共有に役立てたMDS(Minimum Data Set/災害医療情報の標準化手法)と呼ばれる様式の診療日報は、当時、JICAの調査団団長としてモルドバを訪れていた久保達彦教授が開発を主導したものだ。



MDSは、患者の性別や年齢、疾病の種類、医療処置など、被災地で活動を行う医療チームから被災国の保健省への報告が求められる50の項目から成る。2017年には世界保健機関(WHO)が国際標準手法として承認し、翌年には大型サイクロンの直撃を受けたモザンビークで活用された。

「さまざまな国の医療チームが集まる被災地で、最大の課題となるのが情報共有の方法。今日はどのチームがどこでどのような患者さんを何人診療したのか、ケガが多いのか、感染症が多いのかといった情報をシンプルな方法で集約・分析できるようにするのが、MDSです」

手軽さと情報集約のしやすさ フィリピンの手法がモデルに

公衆衛生学を専門とする久保教授が、長年の夢だった災害医療の道を歩むべくJDR(国際緊急援助隊)に隊員登録したのは、医師となって3年目のころだ。現在の活動のスタート地点となったのは、2012年から携わったJDRの電子カルテ開発。当初から「日本だけでなく世界で使える手法」を目標に据えた。

国内外のさまざまなカルテの様式を調べる中で、あるとき、1つの診療日報が目にとまった。患者の属性や病状などを手書きのメモで集計する、フィリピンの「SPEED」だった。

「A4用紙1枚で作れる簡便性と、情報集約のしやすさがSPEEDの特長。早速、日本での活用

を提案したものの、理解は得られませんでした」
だが翌年、超大型台風の被害を受けたフィリピンに派遣されたことがきっかけで、流れは一変。久保教授の提案により各医療チームの日報をSPEEDの様式に統一すると、言葉での報告が多く、長引きがちだった会議の時間が大幅に短縮され、データ集計の効率も向上した。後のMDSやSPEEDの日本版「J-SPEED」の開発を後押ししたのは、現場でその変化を目の当たりにしたJDR隊員や他国の医療チームの声だった。

国外にもオープンな広島大学 WHOとのコラボも検討したい

自身曰く「飽きっぽい性格」。「小学校の通信簿には、いつも『人の話を最後まで聞かない』と書かれていました」と笑う。

「そんな私が、MDSやJ-SPEEDの開発や発展に向けた活動には、10年以上全力で取り組んでいる。それは多分、今の活動にはそれだけの価値があると信じているからだと思います」

広島大学では、災害医療分野の人材育成にも力を入れている。JICAのプロジェクトとの連携やWHOとのコラボレーションによる教育プログラムなど、国内外の組織にオープンな校風を持つ広島大学だからこそ、チャレンジしたい計画がいくつもあると語る。

振り返ればMDS開発の過程には、多くの試練があった。何度も案を練り直し、地道な交渉を重ねる日々に心身ともに疲弊したこともあったが、自分の考えに賛同してくれる人の何気ない一言にも希望を見出しながら、歩みを進めた。

「MDSがWHOの承認を得たら、自分の役目は終わりだと思っていましたが、まだそうはいかないようです。近い将来必ず起こる南海トラフ地震に備えて、J-SPEEDのさらなる活用やアメリカの医療チームとの事前連携を進めたい。その思いが今の私の原動力になっています」

取材・文 / 朝日新聞出版 木下 昌子

- 1 2023年のトルコ大地震の際は、国際緊急援助隊医療チームの第一陣として現地に渡った
- 2 モザンビークにおけるサイクロン被害でMDS日報を使用開始するにあたり、各国の医療チームへ丁寧に説明



世界に目を向け、ヒロシマを見つめ直す きっかけとなったG7広島サミット

食の未来と安全を考える 「食料安全保障シンポジウム」

2023年5月19日から21日の3日間にわたって開催されたG7広島サミットに合わせ、広島大学でもさまざまなG7関連事業が行われました。4月22日には、サタケメモリアルホールにおいてG7サミット&広島大学75+75周年記念事業「食料安全保障シンポジウム～食料の量・質の担保と生物多様性維持の両立は可能か?～」を開催し、在学生、教職員、一般市民など約360人が聴講しました。

本シンポジウムの冒頭では、岸田文雄首相によるビデオメッセージが紹介され、この中で首相は「G7サミットが開催される広島において、食料安全保障と生物多様性の両立に関するシンポジウムが開催されることは、誠に意義深い」と述べました。基調講演では、農林水産省の杉中淳大臣官房総括審議官が日本の食料安全保障対策について説明。続いて大学や企業から食料安全保障に貢献できる日本最先端の研究事例が報告され、本学大学院統合生命科学研究科からも、杉野利久教授が動物福祉と牛乳生産量を両立させる最新DX酪農技術について、小池一彦教授が海底水を自動で高所に揚げる装置を利用した牡蠣の増産について、上田晃弘教授が塩害に強いイネに関する研究について紹介しました。最後に行われたパネルディスカッションでは、現代の食の

問題を解決する方法として注目を集める、フード(Food)とテクノロジー(Technology)を融合させたフードテックが話題にのぼり、新技術開発・ベンチャー企業に対する投資への対応や、培養肉などの新しい食品に対する消費者の不安の解消といったフードテックへの行政支援について紹介がありました。会場の高校生や大学生からの熱心な質問に加え、参加者からも「近年の世界的な人口増加の中で培養肉の可能性を感じたが、一方で、現状では安全面で課題があり一般家庭への普及には壁がある」といった感想が聞かれ、食とその安全保障への関心の高さがうかがえました。

多くの学生が参加した G7広島サミット関連事業

4月15日に広島市内で開催された読売新聞社主催によるG7広島サミット開催記念シンポジウムには、本学から越智光夫学長と川野徳幸平和センター長が登壇。川野平和センター長は「広島の声」として、カタカナの「ヒロシマ」の経緯を紹介し、「今後はヒロシマから出向き、平和に関する思いや考えをしっかりと伝える必要がある」と訴えました。このシンポジウムにも多くの在学生が参加。討論会や被爆者の声に耳を傾けました。

また、4月25日～27日には、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)主催、広島大学平

和センター共催・共同実施の「広島G7ユースサミット」が広島大学東広島キャンパス学生会館2階レセプションホールなどで開催。G7各国を中心とした世界19カ国の若者や学生50人が集まり、パネルトークやワークショップを通じて、核兵器の非人道性を学ぶと共に、核兵器廃絶に向けてどのような行動がとれるかを議論しました。

G7広島サミットでは大学生が学生ボランティアとしても活躍しました。広島大学からは、おもてなしボランティアに15人、通訳ボランティアに17人が参加。JR広島駅と広島空港、県立総合体育館の国際メディアセンターに設置されたインフォメーションカウンターで、サミット関係者に広島を案内するなど活動しました。

世界の課題に目を向け、平和やヒロシマについて改めて考えるきっかけとなった今回のサミット。広島大学では「平和を希求する精神」を理念に持つ大学として、今後も次代の平和の担い手の育成に力を注いでいきます。



地域の防災における女性の役割を話し合う 「地域防災セミナー」

女性にやさしい 地域づくりにつながる 男女共同参画視点からの防災

昨今、頻発する自然災害。広島県でも2014年に続き、2018年にも西日本豪雨による土砂災害が発生し、大きな被害を受けました。いつ起こるか分からない災害に、日頃から地域と共に備える必要があります。

広島大学では、2023年2月に霞キャンパスで地域防災セミナー「男女共同参画視点からの防災～地域でつながる取り組みへ～」を開催しました。2019年度から始まったこのセミナーは、地域の防災における女性の役割について、消防団員な

ど地域で防災を実践している方と共に考えることを目的としています。第4回目となる今回は、広島県内各地で活動している3人の防災士の方々がそれぞれの取り組みを紹介。それを受けて後半のワークショップでは、「女性も地域で防災に取り組むために必要なこと・取り組む方法」や「今日から自分にもできること」というテーマで参加者が話し合いました。

セミナーには、地域で長年防災に携わっている消防団員から高校生まで、オンライン参加者を含め28人の参加があり、終了後のアンケートには、「若い人や企画運営者の意欲的な姿に刺激を受けた。自分の地区にもっと女性や若い防災士が増えるよう



働きかけたい」という感想もありました。今回のセミナーを担当した、大学院医系科学研究科の加古まゆみ准教授は、「防災に女性の視点を取り入れることは、日頃から女性にやさしい地域づくりにつながります。今後は、地域の人々の暮らしが多様化する中で、どのように防災を進めるかが重要になってくるのではないのでしょうか」と話しました。

「下見・鏡山地区バス交通結節点」 公共交通機関利用の増加を期待

自然と調和した快適な空間を意識 待合室「コノハテラス」

2023年春から東広島キャンパス中央口におしゃれなガラス張りの建物がお目見えしました。下見・鏡山地区バス交通結節点の待合室「コノハテラス」です。

交通結節点とは、交通機関の乗り換えを便利にする拠点となる場所のこと。スムーズな路線バスの乗り換え、公共交通機関の利用増加を目的に、東広島市と連携して整備されました。バスの利用が増えることなどでカーボンニュートラルやスマートキャンパスの達成につながることも期待されています。

建設された待合室は、空調完備でトイレも設置され、学生や地域の方の評判も上々です。このデザインには、大学院先進理工系科学研究科の教員1人と建築学ブ



新たなシンボルとして越智学長が揮毫した石碑も設置された

ログラムの大学院生9人が関わりました。上から見ると、特徴的な形をしている「コノハテラス」。自然界に存在する「ボロノイ図」を用いて、樹木から木の葉が舞う姿や、それらの葉が地面に落ちて並ぶ様子を表現しています。学生たちから提案された3案の中から、自然と建物の調和を意図したこのデザインが採用されました。大学の玄関にふさわしい現代的なシンボルになることも意識しています。交通結節点の誕生によって、バスの乗り換えがしやすくなるだけでなく、今後普及が見込まれるマイクロモビリティとの接続など、東広島市民の交通利便性の向上や、地域のさらなる活性化が期待されます。



山田 大綱 さん
 (やまだ・ひろつな)
 大学院統合生命科学研究科
 統合生命科学専攻 博士課程後期2年
 留学先: オーストラリア
 留学期間: 2023年4月~2024年3月(1年)
 利用した留学プログラム: 若手研究者海外挑戦プログラム

留学体験記

「植物の根」の研究を通して 食料問題を解消 貧困地域の課題を解決したい

専攻している植物栄養学の観点からオーストラリアは非常に魅力的でした。留学先の西オーストラリア大学がある地域は極めて貧栄養な土壌という性質上、植物の多様性は他に類を見ず、「植物の根」の研究に取り組む上で非常に面白い環境です。特殊な形状の根(クラスター根)を形成できる植物が、どのようなメカニズムで低栄養の土壌から栄養を吸収するのかを解明することは、特にリン資源の枯渇が懸念される中、持続可能な食料生産につながる重要な研究であると考えています。研究室には世界各国から教員や研究員が集まり、個々の専門性を生かした共同研究に発展することが多く、多様な視点での学びや発見が得られます。初めて英語で研究内容を発表した際に、高く評価されたことが大きな自信や成長につながりました。帰国後は貧困地域の課題解決に寄与する農学的研究を続けたいです。NGOなどの直接課題解決を図るような仕事にも興味があります。



Tackling food issues in impoverished areas through plant root research

From the perspective of my specialization in plant nutrition, Australia captivated me. The University of Western Australia, my study abroad destination, is located in a region with incredibly nutrient-poor soils but an unparalleled diversity of plants. This unique environment presents an interesting opportunity to study "plant roots." Understanding how plants capable of forming specialized root structures called cluster roots can absorb nutrients from low-nutrient soils is crucial research that can contribute to sustainable food production, particularly in light of concerns about phosphorus depletion. My laboratory attracts faculty members and researchers from around the globe, leading to collaborative projects that leverage individual expertise. This environment allows us to explore various perspectives, fostering learning and discoveries. When I presented my research in English for the first time, I received high praise, which boosted my confidence and personal growth. Upon returning to Japan, my objective is to continue agricultural research that contributes to resolving issues in impoverished areas. I am also eager to explore opportunities to collaborate with NGOs and other organizations directly involved in addressing these problems.

地元の隅々まで地理的視点で考察 歩いて発見、郷土愛が深まる一冊

地元の魅力を発見できる 大人気シリーズ第2弾

大学院人間社会科学研究科の熊原康博准教授が中心となって編纂した街歩きガイドブック『東広島地歴ウォーク』(レタープレス社)が2023年3月20日に刊行されました。好評で重版に至った前作の『西条地歴ウォーク』に続く期待の第2弾です。

今回、対象地域を東広島全体に広げ全ページカラーの贅沢な仕様に。内容に関しても広島大学の学生や大学院生に加え、前作を通して知り合った地元の歴史に詳しい方など幅広い方が執筆に参加。地元東広島に焦点をあて各自テーマを決めてフィー



ルドワークを行いました。地理・歴史・文化財・文学・地質・生物などさまざまな分野で掘り下げ、地域の面白さや意外性、その魅力を紙面いっぱいに紹介しています。

本書を執筆中、東広島市内で伊能忠敬が測量したルートを目撃し、日記を基に解明。執筆メンバーの一人は、「実際に市内を歩き調査するにつれ、普段目に入らなかった石碑なども歴史の一端であると感じ、地元を歩くのがますます楽しくなった」といいます。

「昔からの住民の方はもちろん、海外からきた学生や県外から引っ越してきた多くの方に東広島の魅力を知ってほしい」と熊原准教授。この本を活用したフィールドワークの開催も予定されており、地域の歴史や文化を知るきっかけづくりに生かされます。



大学院の授業でのフィールドワークをベースに本書を編纂した熊原准教授(写真右端)

本書の目次一覧(一部抜粋)

- ～山・街・海が出会う“東広島”を歩こう～
- 伊能忠敬の測量の足取りをたどる
- 石碑を通して自然災害を知る
- 東広島ご当地マンホール蓋巡り
- 「吟醸酒の父」三浦仙三郎 ほか



美しいアイルランド風景と光、内戦 人間の本质を描く映画を考察

大学院人間社会科学研究科 桑島 秀樹 教授

2023年3月17日、『イニシエリン島の精霊』上映後、アフタートークイベントが開催され、大学院人間社会科学研究科の桑島秀樹教授が講師として登壇しました。美しい風景を背景にアイルランド固有の人間観・宗教観などが色濃く反映された本作品。繊細な「光」の演出で描かれる「人間の生きる意味」、友

情や愛・諍いなど普遍的なテーマに対し、深く考えさせられる内容でした。イベントには研究者、マスコミ関係者、学生など約50人が参加。桑島教授は映画を基礎づける1920年代のアイルランドや原題の意味に触れつつ、マクドナー監督の巧みな人物造形やストーリーに言及し、改めて高い芸術性を評価しました。



「地域交流イベント」 大学と市の新しいまちづくりを紹介

子どもも楽しめる 最新技術の体験ブースを出展

広島大学・東広島市・民間企業が一体となって活動する「広島大学スマートシティ共創コンソーシアム」では、東広島市における先端技術を活用した暮らしやすいまちづくりを推進しています。2022年4月にスタートしたその活動を地域の方々に広く知ってもらうため、2023年3月4日、広島大学フェニックス国際センターMIRAI CREAにおいて「地域交流イベント」が開催されました。

イベントでは、大学と市が連携して「やさしい未来都市」の実現に向けて取り組むTown & Gown構想や、共創コンソーシアムの活動を紹介し、地域の方々、市の職員を交えて意見交換を行いました。

会場内外には、共創コンソーシアムのメンバーである、住友商事、ソフトバンク、フジタ、

中国電力、ダイキン工業、イズミ、日産自動車、復建調査設計が、各社の技術や事業内容を体験できるブースを出展し、多くの親子連れでにぎわいました。「犬型自走ロボットの美演」や、ラジコンのシヨベルカーを操る「ラジコンバックホウによるあめすくい」、自分で作った電気自動車を走らせる「わくわくエコスクール」など、最新技術を体験できるブースの人气が高く、「今後も開催してほしい」という声が聞かれました。

「取り組みへの理解が広がり始めた手ごたえを感じます」と、イベントを企画したTown & Gown Officeの成田宏健リサーチアソシエイト。「今後は地域住民がまちづくりについて気軽に相談できる場『リビングラボ』を市内に設け、より身近に感じてもらいたい」と話します。



こちら 東千田地区 支援室!

広島大学を日々
支えるオフィスや
センター。その
業務の内容に
迫ります。



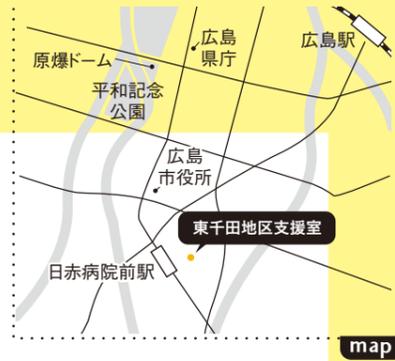
Q1 東千田地区支援室の 役割について教えてください。

A. 東千田キャンパスの学生や教職員へのさまざまなサポートが主な業務内容です。2023年4月、法学部が東広島キャンパスから移転し、東千田キャンパスでは「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」としての整備を着々と進めており、その支援も行っています。また、東千田キャンパスではリカレント教育の講座が開講されており、地域の方々の学びの場としても活用されています。地域への開かれた環境づくりも当支援室の仕事です。

法曹養成の拠点の整備と
学生や地域の学びの環境づくりに貢献。

Q5 働く環境として 魅力を感じていることは?

A. キャンパス隣の東千田公園(元広島大学キャンパス)は、緑に囲まれた憩いの空間で、業務の合間のリフレッシュに最適です。また、キャンパス内には広く落ち着いた雰囲気の食堂「PUNANA」やフナナセンターラボリースペースも多く、「SENDA LAB」はウッドを基調としたシックな空間で、ワーキングスペースとしても活用されています。



Q2 法学部屋間コースと 大学院法学・政治学 プログラムの移転で 変化したことは?

A. 昼夜を問わず、キャンパスに出入りする学生や教職員の数が大幅に増えました。施設の利用も盛んになって、キャンパス全体が活気にあふれています。

Q3 支援室の雰囲気は?

A. 学生が活発に活動しているキャンパスに比べ、落ち着いた雰囲気です。学部夜間主コースおよび夜間大学院にも対応するため、一部の職員は出勤時間をずらして勤務していますが、全職員の勤務時間が重なるお昼から夕方にかけては支援室にもぎやかになります。

Q4 PRポイントは なんですか?

A. 広島市の中心近くに位置していることから、主要な官公庁、司法機関、大手企業と連携しやすいことです。これらの各組織と学生との橋渡し役を担い、学生が将来の進路を考えるための環境づくりに力を入れています。また、総務、財務から学生支援までを当支援室でカバーできるので、小さな規模ながら学生や教員の多様なニーズに応えられることもPRポイントです。

Q6 今後の目標は?

A. アクセスの良い広島市内の拠点として、広島大学のさらなる発展のために快適な教育環境を整備することが目標です。また、地域とのつながりを大切にして、市民の方々からも応援されるキャンパスづくりに取り組んでいきます。

HIRO-DAI HEROES

キャンパスで、地域で、チャレンジする
広島生を紹介

HERO 27 南葉 錬志郎 さん
(なんばれんしろう)
大学院統合生命科学研究科 博士課程前期 2年

三段峡の豊かな自然と地域の魅力を広め活性化へ

研究室の先輩と訪れた、西中国山地国定公園内の大峽谷「三段峡」。そこでNPO法人三段峡-太田川流域研究会(さんけん)と出会い、地域課題や環境危機の話を知ることが、私の活動のきっかけになりました。まずは自然を守る仲間を増やしたいと、広大さんけん部を立ち上げ、三段峡の豊かな自然環境の保護、生物の調査、体験イベントの開催に取り組んでいます。地域の皆さんと連携しPRを目的とした三段峡の情報も発信しています。国の名勝に指定されて100年という歴史、変化に富んだ気候が育む生物多様性。三段峡というフィールドは、人々に体験と学びを提供する博物館そのものだと考えます。次世代の環境分野のリーダーを育てるプロジェクトも始動。自然の素晴らしさ、生命の豊かさを子どもたちに伝えることも大きな役割です。



さんけんと共に立ち上げた
ビジターセンター「Loupe」
未来の環境リーダーを育てる
プロジェクトで講師として活動

お気に入り講義:
東広島キャンパスの自然環境管理

日本でも有数の広さを誇る東広島キャンパスの豊かな自然の成り立ちや生物の多様性など幅広い視点と現地調査で自然環境を学べます。



HERO 28 井上 つぐみ さん
(いのうえつぐみ)
医学部医学科 5年

被爆の記憶と、平和への思いを次世代へ語り継ぐ

広島で生まれ育った私は被爆者からお話を直接聞く機会に恵まれてきました。後世の平和のため、自らの体験を語り継がなければならないという切なる思いとそのご尽力のおかげで、原爆の悲惨さや核兵器の恐ろしさについて深く学んできました。2021年時点で被爆者の平均年齢は84.53歳。「今後、被爆者自身の体験談として生の声が聞ける機会が失われていく。被爆者の皆さんの平和への思いを途絶えさせてはいけない」という考えに至り、代弁者として伝え継ぐ被爆体験伝承者を目指しています。講演では聞き手の方が理解しやすいよう、一つ一つの言葉を丁寧に伝えるよう意識しています。また、自分の専門である医学の分野でも平和に貢献したいと考え、将来は途上国における医療連携や被爆者医療にも取り組んでいきたいと考えています。いつか広島大学でも被爆体験伝承者として講演できれば光栄です。



G7サミットに向けた折り鶴プロジェクト
子どもピースサミット2022にて講演

お気に入り講義:
平和と人間D-広島から未来に向けて-

名誉教授・植木研介先生の被爆証言をもとに平和について考える授業。PTSD®を乗り越えて、当時を語ってくださる先生の姿に感銘を受けました。

※精神的な外傷後遺症



卒業生インタビュー / 私も

大です

広島大学を卒業・修了後、各業界で活躍されている卒業生の方々に、現在のお仕事と大学時代を語っていただきました。



法学部 出身
河村 綾奈 さん

株式会社中国放送
(RCC BROADCASTING CO.,LTD.)
ラジオ局アナウンス部 アナウンサー

かわむら・あやな / 広島県出身。2014年広島大学法学部を卒業後、株式会社中国放送に入社。「イマナマ!」番組MC、「平成ラヂオバラエティでせん様さま」ではラジオパーソナリティを務めるなど幅広く活躍中。



大学院理学研究科※ 出身
米原 隆太 さん

オタフクソース株式会社
生産本部 本社工場 生産管理部
生産管理課 課長

よねはら・りゅうた / 山口県出身。2003年広島大学理学部化学科を卒業後、大学院理学研究科に進学し、数理分子生理学を専攻。2005年修了後、オタフクソース株式会社に入社。製造や品質管理、経営企画など幅広い業務に従事後、現職。

※ 現 大学院統合生命科学研究科

テレビ、ラジオと幅広く 地元広島で働く喜び

幼い頃、アナウンサーに憧れを抱いていたことから、大学3年生からRCCが開校するアナウンススクールに通ってました。そのご縁と運が幸いしRCCに入社、今に至ります。ラジオとテレビが両方ある放送局は全国的にも珍しく、どちらも経験できることはアナウンサーとして本当に恵まれていると思います。

広島大学とお仕事をさせていただく機会も増え、先日は越智学長のインタビューをさせていただきました。地元ならではの縁やつながりで仕事ができるのも、広島の放送局で働く醍醐味だと思います。学生時代の思い出や体験した全てが今の仕事上、話のきっかけになりますし、法律や専

門用語が難なく読めるのも当時学んだことが生きていると感謝しています。

辛い報道も、明るい報道も 視聴者に寄り添い伝える

入社して5カ月後の2014年8月、広島で土砂災害が起こりました。夜中にラジオで速報を入れる必要があったのですが、経験不足のためうまく言葉が出てこず悔しい思いをしました。早く一人前のアナウンサーになりたい、人の役に立つ報道をしたい、その思いを改めて強くしました。

広島東洋カープなど地元スポーツチームの活躍、オバマ元米大統領の広島訪問など明るい報道も多く経験しました。報道の仕事では体力はもちろん前向きな心が必要とされます。不自然に明る

くする必要はありませんが、ラジオを聞いた方が一日元気に過ごして下さるよう、安定した口調で話すことを心掛けています。ゲストの方をお招きするときも事前準備はもちろん、相手の方が話しやすい雰囲気づくりも大切にしています。

学生の皆さんには大学生活を全力で楽しみながらも、ぜひ、何か一つ自分が夢中になれるものを見つけてほしいです。

心に響いた人生の名言

通っていた塾の先生からいただいた「うまくいったらおかげさま、失敗したら自分のせい」という言葉。社会に出て、さまざまな価値観の方と円滑に仕事をする上で大事な考え方だと思います。

本社工場一番の要 全体を最適化

オタフクソース生産本部 生産管理課は本社工場の一番の要といえます。工場の生産性や現場のものづくりの力を高め、いかに効率良く引き出せるかが問われます。具体的には需要予測、生産計画の立案を主業務に、営業からの依頼で原価見積作成、原料・資材の調達と受入、工場の生産性を上げるための生産実績の予実管理、ラベル印刷や工場消耗品の発注まで多岐にわたります。私は営業や生産といった部署間の調整役となったり、生産工程をマネジメントするなど現場が働きやすいよう環境を整える役割も担っています。

さらに部署の枠を越えあらゆる視点の意見を取り入れつつ「全体の最適化」を目

指して改善を図ることも求められます。役割の違いから生まれる意見の相違や矛盾を受け止めながら、なるべく全体が納得する着地点を探し続けることは、苦労がある分この仕事の一番のやりがいでもあります。

研究経験を生かし 新価値創造へ

全体の最適化には、観察力や異変を察知する能力が必要です。これらの力は、寝食を忘れ研究に打ち込んだ学生時代に培われたと思います。ほかに文章を書く力や分かりやすく伝えるためのコミュニケーション能力、マネジメント力も仕事で大いに役立っています。

オタフクと言えばソースですが、私が入社を志望したきっかけは「飲用酢」で

した。理学部化学科でタンパク質の研究をしていたこともあり、就職先は製薬会社か飲料メーカーを希望していましたが、オタフクが飲用酢を作っていることから興味を持ち、食べるのが大好きだったこともあって入社を決めました。

今後は新しい価値を創り出す仕事、素材研究や商品開発をはじめ、新たな研究開発にも取り組んでみたいですね。

心に響いた人生の名言

就職が決まらず落ち込む私に対し「自分を信じとったら大丈夫!」と言い続けてくれた大学院の先輩がいました。前向きに考えることの大切さを教えてくれた広大の先輩に感謝です!

先進理工系科学研究科 先進理工系科学専攻
輸送・環境システムプログラム
博士課程前期 1年
べっしょ かずま
別所 和真さん



受験生だったあの夏

航空機や船舶、自動車など、輸送機器に特化した学科があること、そして優れた研究力と充実した実験施設があることに惹かれて広島大学の受験を決意。夏休みは高校で開催されていた夏期講習で集中して受験勉強に励みつつ、たまには友人と遊んで息抜きもしていました。

広島大学で過ごすこの夏

「海外共同研究」という留学プログラムを利用して、イギリスのノッティンガム大学へ行きます。ノッティンガム大学で開発された理論計算を学び、今取り組んでいる輸送システムに関する研究に生かすことが目的です。留学の決め手は、学部1年生の時に参加した「STARTプログラム」でオーストラリアに滞在したこと。日本と全く異なる文化圏での体験は全てが新鮮で、研究活動においても学際的な幅広い視野を持ちたいと思うきっかけになりました。現在は留学に向けて、これまでの研究の整理や理論計算の予習、英会話の勉強を頑張っています！

受験生にアドバイス！

国立大学である広島大学の入試では、多くの受験科目が課せられます。苦手な科目は早めに克服しましょう。一つ一つ、焦らず確実に克服するのが一番の近道です！

受験生だったあの夏

学校で配られた教材を何度も解き直して、苦手科目を中心に基礎力をつけることを意識していました。コロナ禍で外出が制限される中でも、近くのパン屋さんにお昼ごはんを買いに行くなど、小さな楽しみを見つけて頑張りました！

広島大学で過ごすこの夏

今年の夏休みはタイに行きます！「AIMS/PEACEプログラム」を利用した、約6カ月間の留学です。新しい環境に飛び込んで多くの人と交流したいという思いがあり、さらにこれまでコロナ禍でさまざまなことが制限されていた分、「今できることには積極的に挑戦しよう」と考えるようになったのがきっかけです。タイでは、留学先のカセサート大学で学ぶのはもちろん、休みの日にはいろんな場所をあちこち訪れたいと思っています。現地にしかない学びや体験をいっぱい吸収して、卒業研究に生かしたいです。

新入生へメッセージ！

新型コロナウイルスの影響が落ち着いた今年の夏は、今までできなかったことに挑戦する絶好のチャンス。ぜひ皆さんも自分の興味のあることに全力でチャレンジしてみてください！

まかべ ことよき
眞壁 幸優姫さん
生物生産学部 生物生産学科
国際生物生産学プログラム 3年



HU-style vol.22

教えて！
あの夏
この夏

広大生に夏休みの過ごし方を突撃インタビュー！受験生の夏休みをどう乗り越えたかも聞いてみました。



さわだ そら
澤田 蒼良さん
教育学部 第一類(初等教育教員養成コース) 2年

受験生だったあの夏

広島大学の教育学部を目指して勉強に打ち込む毎日。長時間勉強を続けるために、午前中は学校、昼～夕方は塾、夜は自室と、時間によって勉強場所を変えて気分転換していました。さらに、勉強の合間には友達と雑談したりご飯を食べに行ったりと、一人でストレスを溜め込まないように気を付けていましたね。

広島大学で過ごすこの夏

「地域教育実践」という教育学に関する集中講義を受講します。講義では、自然体験や農業体験など、小学生に向けたイベントを学生自らが企画します。地域の方や子どもたちと積極的に触れ合うことができそうなので、今から楽しみです！もちろん、講義以外の時間ではプライベートも満喫する予定。友人と一日中旅館でのんびりしたり、実家に帰って高校時代の友人と遊びに行ったり、楽しい時間を過ごしたいと思います。

受験生にアドバイス！

復習する時には、自分の解答が正しかったかどうかだけでなく、答えにたどり着くプロセスや発想の部分も振り返ってみてください。初めて見る問題への対応力が身に付くと思います！

受験生だったあの夏

私の高校では3年生になると、各々の学習計画に沿ってひたすらに自主学習を進める「学習合宿」が行われます。数日間孤独に勉強し続けるのは精神的にかなりきつかったですが、自分自身に真正面から向き合えたと同時に、友達と励まし合うことが、どんなに心強かったかということに気付く良い機会になりました。

法学部 法学科
昼間コース 2年
ふるや りほ
古谷 理歩さん



広島大学で過ごすこの夏

所属しているフェンシング部で大会に出場することがこの夏の一大イベント！「全国公」という全国の国公立大学の学生が参加する大会で、全日程1週間ほどの大きな規模で行われます。どの大学もかなり練習を重ねているので、毎年とても熱い試合が繰り広げられます。さらに、学生間の交流はもちろん、普段訪れる機会のない他大学のキャンパスやその周辺のまちを散策できるのもこの大会ならではの楽しみ。今年からは新型コロナウイルスによる制限も緩和されたので、開催地の観光も楽しみつつ、試合に臨みたいと思います。

新入生へメッセージ！

大学生の夏休みは約2カ月間の完全休暇！新しいコミュニティに飛び込んでみたり、自分の趣味をとことん追求したり、夜中まで友達と語り合ったり……たっぷり時間のある大学生にしかできない体験をしてみてください。

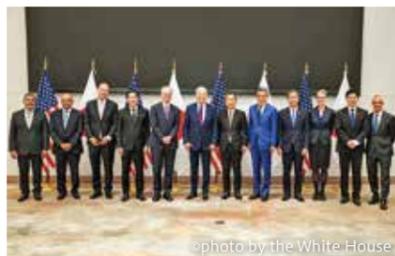
HU TOPICS

2023.4
|
2023.7

大学の動き

日米半導体連携 パートナーシップに参画

広島大学は、マイクロン社とのパートナーシップに基づく日米半導体連携「UPWARDS for the Future」に参画しました。このパートナーシップには、本学を含めて日米の計11大学が参画しています。5月21日、永岡文部科学大臣やプリンケン米国防務長官と各大学長による覚書が締結され、越智学長は、日本側の大学の代表として、東北大学の総長と共に参加しました。その後のプレスカンファレンスには、バイデン米大統領も同席しました。



©photo by the White House

総合科学部

広報誌「飛翔」編集学生が 株式会社村上農園を訪問し、 飛翔第99号を贈呈しました

5月11日、学部長、基金室長と総合科学部広報誌「飛翔」の編集学生代表が、広島市佐伯区にある株式会社村上農園を訪問し、感謝を述べた後、同社のご寄附により発行した飛翔第99号を村上社長に贈呈しました。



教育学部

造形芸術系コースの学生たちが 飯室の芸術家たちについて 小冊子をまとめました

造形芸術系コースの学生たちが、飯室(広島市安佐北区)出身の水墨画家・丸木位里と、彼と関係の深い飯室の芸術家たちについて小冊子にまとめました。イラストや画像を多く使用して、幅広い年代層の方々が手に取りやすいデザインになるよう心掛けました。詳細は、学部HPをご覧ください。



全12学部・5大学院の
注目トピックをピックアップ。
広島大学の最新情報を紹介します。

学部情報 / 大学院情報

75+75周年記念事業「広島大学in東京」が 盛況のうちに終了しました

6月24日、広島大学75+75周年記念事業「広島大学in東京」をTKP新橋カンファレンスセンターで開催しました。本学に関心のある高校生や保護者の方、高等学校進路指導教員、企業の方など約200人の参加がありました。越智学長による開会挨拶の後、本学の卒業生である株式会社リコーの山下代表取締役会長による基調講演があり、その後の研究紹介では本学の最先端の研究内容を説明しました。また、入試説明・個別相談や就職担当教員との個別面談なども行いました。



文学部

被爆者体験講話を開催しました

1年次の「教養ゼミ」において、被爆体験講話を開催しました。文学部における被爆体験講話は2015年に始まり、ひろしまの平和の継承・発信を目的に継続して実施しています。被爆者の高齢化により被爆の実相を後世に伝えることが困難になりつつある中、被爆者の梶本淑子さんと伝承者の青木圭子さんにご講演いただき、貴重なお話を伺うことができました。

法学部

法学部移転記念式典を 開催しました

4月16日、東千田キャンパスにおいて法学部移転記念式典を開催しました。式典終了後には施設見学と河上正二東京大学・東北大学名誉教授による記念講演を行いました。



経済学部

新入生歓迎交流行事を 開催しました

昼間コースは4月22日、夜間主コースは4月14日に、2年生の有志の企画による新入生歓迎行事を開催しました。昼間コースは飯盒炊飯(カレー作り)やソフトバレーボール、夜間主コースはクイズ大会等を通して交流を図りました。



理学部

ニュートンのリンゴ

理学部E棟正面玄関前に再植樹した「ニュートンのリンゴ」の木に実がなりました。まだ青く小さいですが、今後が楽しみです。



医学部

河野修興名誉教授が 2023年春の紫綬褒章を受章

医学部分子内科学の前教授河野修興名誉教授は「間質性肺炎の血清マーカーであるKL-6の発見とその臨床応用」の研究成果が評価され紫綬褒章を受章、広島大学としては9人目の受章です。KL-6は、世界初・日本発、年間400万検体以上測定され、世界の医療に貢献しています。

歯学部

カンボジア歯科医療支援活動を 再開しました

コロナ禍のため渡航を延期していたカンボジア歯科医療支援活動を再開し、谷本歯学部長・小児歯科が中心となり、歯科健診など約1週間の活動を展開しました。



薬学部

公開講座「くすりは服用した後どうなるの？ ～薬学で重要なADMETとは？～」を 実施しました

薬学において重要な ADMET (A: 吸収、D: 分布、M: 代謝、E: 排泄、T: 毒性) を中心に、くすりが私たちの体でどのように変化し、どのように効果を発揮するのかをテーマとした今回の公開講座では最新の研究も交えた話題を提供し、多くの方にくすりの奥深さについて知っていただくことができました。

工学部

「活躍する先輩からのメッセージ」を 掲載

工学部ウェブサイトでは年3～4回工学部・大学院工学研究科を卒業・修了し、社会で活躍する先輩からのメッセージを掲載しています。社会人となった先輩方がさまざまな分野で活躍している様子や在学生へ向けたメッセージを掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。



生物生産学部

教養ゼミで学部1年生全員が 農業体験をしました

5月13日、生物生産学部1年生全員が世羅町と東広島市豊栄町に分かれて農業体験学習を行いました。世羅幸水農園では梨の一次摘果を体験しました。



情報科学部

高大接続サマーキャンプ開催

2022年度から新設された学校推薦型選抜での高大接続プログラムとして、高校生向けのサマーキャンプを8月および9月に実施します。サマーキャンプでは、情報科学部で開講されている数学およびプログラミングの授業を体験します。詳細は、学部HPをご覧ください。



人間社会科学部

HSS Researchers

人間社会科学部研究科のウェブサイトにはHSS Researchersというページを設け、研究科内で取り組まれる多様でユニークな教育・研究活動や、国内外に知られた研究者の研究内容を紹介しています。2023年度は、HSS Researchersで研究者の紹介を充実させ、より多く研究内容を大学内外に発信していく予定です。



先進理工系科学研究科

先進理工系科学研究科の ロゴマークができました

研究科をイメージしたロゴマークを作成しました。研究科名の英語表記「Advanced Science and Engineering」のイニシャル「AdSE」を組み合わせています。今後、これらのロゴマークを活用し広く発信していきます。



統合生命科学部

食料安全保障シンポジウムに 本研究科教員が登壇しました

G7広島サミット&広島大学75+75周年記念事業「食料安全保障シンポジウム」が4月22日にサタケメモリアルホールで開かれ、本研究科の杉野利久教授、小池一彦教授及び上田晃弘教授が本学を代表して研究紹介を行いました。また、島田昌之教授がシンポジウムを総括するパネルディスカッションの座長を務めました。

医系科学研究科

科学技術分野の文部科学大臣表彰を 受賞しました

「令和5年度科学技術分野の文部科学大臣表彰」において、医系科学研究科から、久保達彦教授が「科学技術賞 開発部門」(業績名: J-SPEED/MDS 日本発WHO国際標準の開発育成)を、内田康雄教授が「若手科学者賞」(業績名: ヒト組織定量プロテオミクスの開発に基づくヒト中枢関門研究)を受賞しました。

スマートソサイエティ実践科学部

スマートソサイエティ実践科学 部研究院FDを開催しました

今年4月新設の本研究院では、6月16日に第1回FD(教職員を対象とした研修会)を開催しました。参画教職員に対し研究院のミッションが共有され、これからの分野融合研究を促進すべく、活発に意見交換しました。



“広大キャンパスの「イマ」をお届け”
キャンパス NOW

広島大学に5つ目の大学院が誕生！

**大学院スマートソサイエティ
 実践科学研究所**ってどんなところ？

2023年4月、広島大学に「スマートソサイエティ実践科学研究所」が開設しました。
 「スマートソサイエティ」…聞いたことはあるけど何だっけ…。
 新しい研究所の概要についてご紹介します！



Q1
 「スマートソサイエティ」
 ってなんですか？

サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会のことです。



ドローンの姿勢に影響を与えない無反動ロボットアームを開発

自動運転シャトル「HIROMOBI」

Q2
 どんな研究を
 するところなの？

教育研究の柱は、Society 5.0*の主要研究分野である「サイバーフィジカルシステム」、「スマートモビリティ」、「スマートエネルギー」、「スマートアグリカルチャー」、「国際医療保健」、「社会イノベーション科学」の6つの研究領域です。

* Society 5.0…狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会を指すもの。第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱されました。

Q3
 研究所のすごいところを
 教えてください！

本学の全研究科が連携し、6つの研究領域からなる学際的な教育研究を特長としています。研究領域の異なる複数の教員が協働して研究指導することで、学生は周辺分野の研究動向を踏まえながら研究を進めることができます。「スマートソサイエティの実現を担うグローバル人材」を養成します。



高齢者疑似体験実習での歯科保健指導

情報通信技術を活用した農作物の生産管理

創立75+75周年特集連載！

第一弾 広島大学創立75+75周年記念事業始動！

広島大学は、2024年に創立75周年を迎えます。最も古い前身校である白鳥学校が設立された1874年から1949年に新制広島大学が誕生するまでが75年、それから数えると、2024年がちょうど150周年にあたります。記念事業として既にさまざまな企画が動き出しており、イベントの開催や記念グッズの販売などが行われています。新しい情報はウェブサイトでご確認ください！



食料安全保障シンポジウム (2023年4月開催)

75+75周年を身近に
 感じられるグッズも販売中です！



広大ならではの
 食材を詰め込んだ
 「広島大学弁当」

イラストレーター、
 カミガキヒロフミ氏
 によるイラストを
 楽しめるスカーフ

Reader's View

HU photos

Instagramで#広島大学の
 付いた投稿からお届けします。



2023.6.19
 #広島大学 #広大キャンパス
 #夏 #お気に入り

投稿者:tmy_sさん

HU ism

広島大学にまつわる、
 読者から届いたちょっといい話をご紹介します。

福 山市をよく訪れることがあります。福山市内でこの広報誌を入手できる場合は必ず手にしております。とても素敵な雑誌で、全面にわたり魅力的です。自分の母校にもこういうものがあつたらなあ、と思いがら拝見しております。これからも頑張ってください！

ペンネーム:けんじさん(岡山県倉敷市)

遠 離れた広島大学について知ることができました。広い分野で活動、活躍されているのですね。いつまでも世界で光り輝く大学でありますように。

ペンネーム:やなぎさん(長野県小諸市)

投稿
 募集中！

HU photos

広島大学にまつわる写真を#広島大学を付けてInstagramに投稿してください。テーマは何でもOK！素敵な写真をお待ちしています。

HU ism

広島大学にまつわる逸話やエピソードを募集します。あの頃の懐かしい思い出話や誰かに言いたくなる広島大学の秘密を教えてください。

投稿はこちら



投稿が掲載された方には
**広大マスコット
 キャラクター
 「ひろティー」
 トートバッグをプレゼント！**
 ※デザインは選ばせません。



WEBアンケートにご協力ください

読者の皆さまからのご意見、ご要望、情報提供をお待ちしております。
 いただいたアンケート内容は、今後の誌面づくりに活用させていただきます。



WEBアンケートはこちら

HU-plus 検索

読者プレゼント

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で合計5名様にプレゼント!!

※応募締切:2023年11月30日必着 厳正な抽選の上、商品の発送をもって当選の発表にかえさせていただきます。

A 夏井いつき氏 直筆サイン入り
 『夏井いつきの世界一わかりやすい俳句の授業』
 夏井いつき著 (PHP研究所)



2名様

B オタフクス株式会社
 商品詰め合わせ



3名様

広島銘菓「せとこまち」を
 ご賞味ください。

広島大学・尾道市と
 弊社にしき堂が
 共同開発した
 広島銘菓「せとこまち」を
 ご賞味ください。

にしき堂

本店/広島市東区光町1丁目13-23 ☎(082)262-3131(代)
 https://www.nishikido.co.jp Eメール:info@nishikido.net
 TEL ☎0120-979-161(8:00~18:00) FAX ☎0120-963-161

あっ!
**おいしいで
 かんたん!**

“お好み焼”という名前のとおり
 具材を自由に入れて、焼くだけ。
 あっ!
 という間に笑顔になる
 かんたん応援ごはんです。
 さあ、きょうはどんなお好み焼にする?

otafuku

Balcom Group

Balcom BMW
 Motorrad Balcom

MINI
 HARLEY-DAVIDSON BALCOM

ROLLS-ROYCE
 Balcom Union Motorcycle

広島大学への寄附にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

広島大学基金

※広島大学が躍動し広島のを活性化させる基金
(広島大学75+75周年に向けて)・応急学生支援金を含む

高額のご寄附をいただいた方

●個人10億円以上 法人20億円以上

佐竹 利子 様
「特別栄誉学賞」

●個人5000万円以上 法人1億円以上

公益財団法人
広島大学教育研究支援財団
理事長
佐竹 利子 様
株式会社 サタケ 様
「学賞」

●個人1000万円以上 法人2000万円以上

医療法人社団 浜中皮ふ科クリニック
理事長
浜中 和子 様
「名譽校友」

●個人1000万円以上 法人2000万円以上

医療法人社団 浜中皮ふ科クリニック
理事長
浜中 和子 様
「名譽校友」

●個人500万円以上 法人1000万円以上

医療法人社団 どりも会 ヒロシマ平松病院
理事長
平松 廣夫 様
「名譽校友」「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

医療法人社団 日本クライメイト
システムズ
代表取締役社長
松尾 則宏 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

医療法人社団 恒和会
石病医院
理事長
松石 頼明 様
株式会社 紀陽
代表取締役社長
松木 啓 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

医療法人社団 藤井 滋 様
「名譽校友」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 西川 正洋 様
「名譽校友」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 廣島銀行
代表取締役 頭取
部谷 俊雄 様
「名譽校友」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 廣島銀行
代表取締役 頭取
部谷 俊雄 様
「名譽校友」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 廣島銀行
代表取締役 頭取
部谷 俊雄 様
「名譽校友」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 廣島銀行
代表取締役 頭取
部谷 俊雄 様
「名譽校友」

●個人100万円以上 法人100万円以上

医療法人社団 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

2023年2月から2023年5月までにご寄附をいただいた方

●100万円以上

広島ガス株式会社 様
「名譽校友」

●1000円以上100万円未満

佐々木 元 様
「名譽校友」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

●個人100万円以上 法人100万円以上

株式会社 中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「冠寄附者」

冠事業基金

(2023年5月現在)

2015年度から新たに、寄附をいただいた方のご芳名などを冠して、寄附者様のご厚意が見える形にした「広島大学冠事業基金」を創設しました。寄附方法は、一口5万円の毎月の継続寄附で、当面は外国人留学生への奨学金と日本人学生への海外留学資金に活用します。

医療法人社団 慈恵会 いまだ病院 院長 大杉 健様 (2015.11～/455万円)	医療法人 KOC 金谷整形外科クリニック 理事長 金谷 篤 様 (2016.2～/440万円)	オタフクソーズ株式会社 取締役会長 佐々木 直義 様 (2016.1～/非公開)	戸田工業株式会社 取締役社長 實来 茂 様 (2017.12～/670万円)	株式会社 やまだ屋 代表取締役 中村 靖富満 様 (2017.1～/非公開)	医療法人社団 どりも会 ヒロシマ平松病院 理事長 平松 廣夫 様 「名譽校友」 (2016.1～/890万円)	医療法人 明笑会 理事長 安本 正徳 様 (2016.2～/440万円)
株式会社 廣島銀行 代表取締役 頭取 部谷 俊雄 様 「名譽校友」	医療法人社団 伯瑛会 のぞみ整形外科 理事長 田中 純子 様 (2016.1～/非公開)	医療法人 エム・エム会 理事長 白川 泰山 様 (2016.8～/410万円)	株式会社 総合広告社 代表取締役副会長 坪井 高義 様 (2016.3～/430万円)	医療法人社団 恒和会 石病医院 理事長 林 淳二 様 (2016.3～/435万円)	株式会社 バルコム 代表取締役 山坂 哲郎 様 「名譽校友」 (2015.12～/450万円)	株式会社 バルコム 代表取締役 山坂 哲郎 様 「名譽校友」 (2015.12～/450万円)
特定医療法人 あかね会 理事長 土谷 晋一郎 様 「名譽校友」	医療法人 エム・エム会 理事長 金田 瑛司 様 「冠寄附者」	株式会社 紀陽 代表取締役社長 寒川 起佳 様 (2016.9～/非公開)	医療法人社団 清流会 理事長 永井 賢一 様 (2016.3～/435万円)	医療法人 昭和 原田整形外科病院 理事長 原田 昭 様 (2015.10～/455万円)	株式会社 バルコム 代表取締役 山坂 哲郎 様 「名譽校友」 (2015.12～/450万円)	株式会社 バルコム 代表取締役 山坂 哲郎 様 「名譽校友」 (2015.12～/450万円)
小野 光代 様 「名譽校友」	医療法人 辰川会 理事長 辰川 自光 様	医療法人 おち眼科 理事長 越智 温子 様 「冠寄附者」	医療法人社団 清流会 理事長 永井 賢一 様 「冠寄附者」	医療法人 昭和 原田整形外科病院 理事長 原田 昭 様 (2015.10～/455万円)	株式会社 バルコム 代表取締役 山坂 哲郎 様 「名譽校友」 (2015.12～/450万円)	株式会社 バルコム 代表取締役 山坂 哲郎 様 「名譽校友」 (2015.12～/450万円)
児玉 治 様 「名譽校友」	医療法人 サカもみの木会 理事長 坂 信一 様	株式会社 中国新聞社 代表取締役社長 岡谷 義則 様 「冠寄附者」	医療法人社団 清流会 理事長 永井 賢一 様 「冠寄附者」	医療法人 昭和 原田整形外科病院 理事長 原田 昭 様 (2015.10～/455万円)	株式会社 バルコム 代表取締役 山坂 哲郎 様 「名譽校友」 (2015.12～/450万円)	株式会社 バルコム 代表取締役 山坂 哲郎 様 「名譽校友」 (2015.12～/450万円)
医療法人社団 昭信会 理事長 頼島 信 様 「名譽校友」	医療法人 ワカサ会 理事長 若佐 直定 様	株式会社 中国新聞社 代表取締役社長 岡谷 義則 様 「冠寄附者」	医療法人社団 清流会 理事長 永井 賢一 様 「冠寄附者」	医療法人 昭和 原田整形外科病院 理事長 原田 昭 様 (2015.10～/455万円)	株式会社 バルコム 代表取締役 山坂 哲郎 様 「名譽校友」 (2015.12～/450万円)	株式会社 バルコム 代表取締役 山坂 哲郎 様 「名譽校友」 (2015.12～/450万円)
勝矢 博 様 「名譽校友」	大嶋 俊一 様	株式会社 中国新聞社 代表取締役社長 岡谷 義則 様 「冠寄附者」	医療法人社団 清流会 理事長 永井 賢一 様 「冠寄附者」	医療法人 昭和 原田整形外科病院 理事長 原田 昭 様 (2015.10～/455万円)	株式会社 バルコム 代表取締役 山坂 哲郎 様 「名譽校友」 (2015.12～/450万円)	株式会社 バルコム 代表取締役 山坂 哲郎 様 「名譽校友」 (2015.12～/450万円)
越智 光夫 様 「名譽校友」「冠寄附者」	医療法人 辰川会 理事長 辰川 自光 様	株式会社 中国新聞社 代表取締役社長 岡谷 義則 様 「冠寄附者」	医療法人社団 清流会 理事長 永井 賢一 様 「冠寄附者」	医療法人 昭和 原田整形外科病院 理事長 原田 昭 様 (



キャンパス
今 昔

ゆかたまつり

1952年から東千田キャンパスで行われていた「六月祭」。たくさんのテントが並び、大勢の人々にぎわっている様子がうかがえます。総合科学部のキャンパス移転を機に、六月祭は1992年で幕を下ろしました。その後、東広島キャンパスで「七夕まつり」(1996年～ゆかたまつりに改称)が開催されるように。学生と地域の人々が一体となり、浴衣や甚平を着て模擬店やステージ企画を楽しみます。クライマックスで輝く打ち上げ花火が、夏の思い出の1ページになりますように。



広島大学の昔の写真を募集します。

青春を過ごした思い出の場所や、当時の雰囲気を感じられる風景など、ご自宅に眠る広島大学の写真を、エピソードと共にお送りください。読者の皆さんと一緒に昔を懐かしみましょう。ご応募はP28のHU ism投稿フォームまで。



100年後にも世界で光り輝く大学へ

広島大学



編集・発行：広島大学 広報室

〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2 TEL:082-424-4383 FAX:082-424-6040

E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp

https://www.hiroshima-u.ac.jp

